

市政ニュース

コウノトリ本舗がオープン 環境経済戦略のモデル施設が誕生

3月22日、環境経済戦略のモデル施設として県立コウノトリの郷公園の駐車場横に整備していた市立地域交流センター「コウノトリ本舗」がオープンしました。

同施設は指定管理者制度によりコウノトリ羽ばたく株式会社運営し、環境や地産地消などをテーマにした300種類以上にも及ぶこだわり商品の販売や飲食物の提供、さまざまな観光情報の発信などを行います。

オープン当日は、コウノトリを見学に来た観光客はもろろん、地元からも大勢の人が訪れ、店頭に並ぶ商品を品定めしたり、オープン記念の出土そばやつきたてもちの無料サービス



「物産販売」「喫茶」「観光情報」コーナーなどを備えたコウノトリ本舗

スに舌つみみを打っていました。市民の皆さんもぜひ、コウノトリの見学を兼ねて、お立ち寄りください。
なお、営業時間は、午前9時から午後5時まで（月曜日は午前10時から午後3時まで）当分の間、無休で営業します。

鳥居やすらぎ市民農園がオープン

台風23号の復興のシンボルに

平成16年台風23号で大きな被害を受けた出石町鳥居地区に「鳥居やすらぎ市民農園」が完成し、4月1日オープンしました。

この農園は、地元住民で組織される管理組合が国などの補助を受け整備し運営するもので、117区画の農園をはじめ、休憩室や更衣室などを備えた「やすらぎ館」、交流広場などを完備しています。

また、地元で採れた農産物の販売や都市と農村の交流イベントなども計画されています。

本農園では、ただいま利用者を募集しています。年間利用料は小区画（約50平方メートル）15,000円、中區画（約70平方メートル）18,000円です。

利用を希望される方は管理組合（廣井さん）まで連絡ください。（☎52・3303）

障害者多機能施設「はばたけ」がオープン 地域での障害者の自立を支援

3月28日、障害者多機能施設「はばたけ」が九日市中町地区に完成しました。

NPO法人豊岡市手をつなぐ育成会が運営する本施設では、障害がある方とその家族が地域で当たり前に生活できるようにするため、就労や生産活動の機会提供、一般就労への移行支援、介護サービスや訓練・創作活動などを通して

の自立支援などが行われます。建物は木造2階建て、館内には作業室や訓練室、医務室・相談室が配置され、施設定員は35人です。

竣工式で同会理事長の中井佳与子さんは「障害のある方が、地域の中で生きがいを持って自立できる拠点施設となるようがんばります」と意気込みを語っていました。



「はばたけ」は障害者がコウノトリのように地域にはばたくようお願いを込め命名された



3月25日には竣工式が行われ、関係者がじゃがいも種を初植えた

但東ダムが完成

洪水調整や水道用水確保などを担う

3月18日、但東町畑山地区の横谷川に但東ダムが完成し、竣工式が行われました。

県と市が共同で建設した同ダムは、高さ25・7メートル、長さ120メートルのコンクリートダムで、横谷川下流の住民を洪水から守るとともに、貯えた水が但東地域の水道用水や農業用水に活用されます。

また、ダム湖の周囲には、里山の自然について観察できる広場なども整備されています。



テープカットを行う関係者

竣工式には関係者約120人が出席し、テープカットやくす玉割り、記念碑の除幕などで完成を祝っていました。

道場大橋が完成

緊急車両もスムーズに通行可能に

3月24日、日高町道場地区の「道場大橋」が完成し、竣工式が行われました。

一級河川稲葉川に架かる旧道場大橋の老朽化に伴い整備された新しい橋は、全長48・6メートルの市道向道場線の道路橋で、幅員がこれまでの約2倍の5メートルに広がられました。

竣工式当日は、地元住民や関係者など約100人が渡り



関係者や地元住民が渡り初めをして完成を祝った

初めなどを行って橋の完成を祝い、災害に強く、緊急車両もスムーズに通行できる願望の橋ができたこと喜びの声を上げていました。

九州石油がコウノトリ野生復帰事業に継続して支援の申し出

新たに野生復帰事業に社員を派遣

3月27日、コウノトリを会社のシンボルマークにしていることをきっかけに、コウノトリ野生復帰事業に支援をいただいている九州石油株式会社本社・東京都から、平成19年度も継続して支援するとの申し出を受けました。

同社からは、平成17年度から、コウノトリ基金への寄付をはじめ、啓発ポスターの掲出、社員に対するコウノトリファンクラブへの入会勧奨、コウノトリを題材にしたCM放映など、さまざまな支援をいただいています。

平成19年度は、さらに新しい支援策として、社員食堂での「コウノトリの郷米」の使用や、豊岡に社員を派遣し、コウノトリ野生復帰へのボランティア活動等を計画すると市長に伝えられました。

同社の松井 裕総務部長は、「社会的貢献活動の一環として協力させてもらっています。社内外からもとても評判がいいです。今後、豊岡の取組みを支援していきます」と力強く話されました。

なお、今回の来庁の際、コウノトリ基金へ2度目となる



新しく作ったコウノトリのポスターを披露する松井部長（中央）らと市長

寄付金100万円をいただきました。

安川神社のムクノキを市天然記念物に指定

合併後、初めての市指定文化財

3月22日、市教育委員会では市文化財審議委員会の答申を受けて、百合地の安川神社境内にあるムクノキを市指定文化財（天然記念物）に指定することを決定しました。

このムクノキは、胸高周囲6・25メートル（県内第6位）、樹高34メートル（県内第1位）

もある巨木で、但馬の巨木百選マップ」に選ばれています。樹勢もよく、神社のご神木として地元

のシンボルにもなっており、市の文化財に指定し、保護することになりました。



安川神社のご神木として大切にされているムクノキ

「豊岡市」での指定第1号で、市指定の天然記念物はこれで25件となります。